



10月13日(土)熊本県人権子ども集会に参加しました。玉名高校附属中学校の2年生、生徒会執行部そして人権ボランティア委員会での参加でした。2年生の感想をご紹介します。写真は、集会当日の様子です。

まず最初に、小学生の発表がありました。地域の方との取組などを一生懸命発表していて、感動しました。中高生の発表はとてすごく、中には「小学生のころからずっと人権子ども集会に参加していて、このステージの上で発表したかったので、今回こうして発表できてとても嬉しいです。」と話していた方もいました。

私は人権について、これまで自分の意見や考えをしっかりと持っていたわけではなかったので、他人事と思うのではなく、もっと真剣に考えていかなくてはと感じました。(2年 古田さん)



私は、人権子ども集会に参加して、二つのことを感じました。一つは、不知火小学校の発表であった地域とのつながりの大切さです。私の地域では、近くなのに知らない人がたくさんいます。これから、挨拶やコミュニケーションを通して、少しずつ交流していければいいと思いました。



二つ目は、城北高校の発表であった、「いじめをなくすための大切なこと」です。私は特に「お互いを知り、理解すること」が大切だと思いました。玉名高校附属中では、縦割り班活動などがありますが、まだまだ知らない人がたくさんいます。これから積極的にいろいろな人と関わっていき、差別のない玉名高校附属中にしたいです。初めて参加したけれど、とても良いことを学べた一日でした。(2年 米井さん)

人権子ども集会は、部落差別をはじめあらゆる差別をなくすために熊本県の小学生から高校生が参加する集会です。不知火小の発表では、地域との密着について学ぶことができました。南阿蘇中の発表では、差別は知らないからなくなならないという言葉が心に残っています。城北高校の発表では、いじめを防ぐためには、お互いを知ることから始めることが大切だということが分かりました。

私は、これから周りの意見を鵜呑みにせず、自分の考えを持ち、正しいことを知り、差別をなくしていきたいです。今回の人権子ども集会で学んだことを、今後の生活に活かしていきたいです。

(2年 山下さん)

玉名高校附属中学校では、生徒朝会で「いじめゼロ宣言」を唱和しています。「お互いの個性を認め合い、いじめのない学校づくり全員で取り組む」というもので、右の写真はその様子です。

また、「心のアンケート」を毎月実施しています。いじめのない環境づくりのための意見もけっこうあります。例えば、植物を教室に置くなど、癒やしの空間づくりを考えたと思われる意見もありました。今後も、生徒の皆さんの気持ちを大切にしていきたいと思います。



2018. 10. 19 副校長 山部